

平成 30 年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
農業経営研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター 水田作研究領域長 高橋茂

1. 趣旨

農林水産省の定義する「スマート農業」とは、「ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業」とされている。これらは水田営農において大規模化、複合化の進展、労働力不足の中、農作業における省力・軽労化を推進し、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待されている。現在、水田営農の技術開発では大型機械体系の導入が提案され、固定費の増大が見込まれるが、「スマート農業」の推進によるさらなる増大が見込まれる。そこで、本研究会では、新たに発生する固定費を最適にする作付計画に反映できる、固定費を組み入れた利益最大化を示しうる整数計画モデルの構築手法とその活用方法について検討する。

2. 開催日時

平成 31 年 1 月 29 日(火) 13:15～17:15 1 月 30 日(水) 9:00～12:00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）研修室 811（盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1）

4. 議事内容

1 日目 1 月 29 日（火）13:15～17:15

1) 重点検討事項

検討課題：水田営農への「スマート農業」導入に向けた整数計画モデルの活用方法の検討
話題提供：

- ① 整数計画法の理論的特徴および活用局面と X L P の利用（仮）
筑波大学生命環境系(国際地縁技術開発科学専攻) 研究員 大石 亘 氏
- ② 整数計画法による水田営農の評価（仮）
農研機構九州沖縄農業研究センター作物機能開発研究領域 主任研究員 岡崎泰裕 氏

2 日目 1 月 30 日（水）9:00～12:00

- 2) 平成 30 年度研究成果情報の紹介
- 3) 現場段階での重要な研究課題の検討
- 4) 次年度重点検討事項および共同研究課題の提案
- 5) 各県の主要研究課題の検討
- 6) 夏期研究会の次年度の開催計画
- 7) その他

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政部局、県専門技術員、大学、その他推進部会長が必要と認めた者

6. 連絡先 : 作物生産推進部会農業経営研究会事務局

農研機構東北農業研究センター生産基盤研究領域 農業経営グループ長 笹原和哉

E-mail : sasa@affrc.go.jp Tel・Fax : 019-643-3493(直通) 盛岡市下厨川字赤平4